

8 愛防第 23 号
令和 8 年 8 月 18 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病虫害防除所長

発生予察情報の送付について

病虫害発生予察注意報（第 3 号）を下記のとおり発表したの送付いたします。

令和 8 年度 病虫害発生予察注意報（第 3 号）

令和 8 年 8 月 18 日
愛 媛 県

病虫害名 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)
対象作物 かんきつ、かき、キウイフルーツ等

- 1 対象地域 県下全域
- 2 発生程度 やや多～多

3 注意報発表の根拠

- (1) 主たる増殖源であるヒノキ球果での口針鞘数は、離脱の目安とされる 1 球果当たり 25 個を超える地点が調査 11 地点中 3 地点と、すでに複数の地点で新世代成虫の離脱が始まっているものと推測される（表 1）。
- (2) 県内のトラップでの 8 月上旬の誘殺状況は、予察灯 8 か所中 7 か所、集合フェロモン 5 か所中 4 か所で平年より多くなっており、全県での誘殺数は予察灯で平年の 1.8 倍、集合フェロモン 2.8 倍となっている（表 2、3）。
- (3) 1 か月予報（令和 8 年 8 月 13 日、高松地方气象台発表）では、気温は高い見込みとされていることから本虫の活動は平年よりも活発とみられ、園地への飛来が助長されるものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) 飛来時期、飛来量は地域、園地により異なるため、早期発見に努める。
- (2) 主に山林から園地に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (3) 園地への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日の日没 30 分後～3 時間後に多くなるので、防除はそれが想定される日の夕方が効果的である。
- (4) 飛来した成虫は集合フェロモンを放出し、同種の成虫を引き寄せるため、飛来初期の防除が重要である。
- (5) 台風等による強風雨後、園地への飛来が急増する事例があるため注意する。
- (6) 飛来が続く場合は継続的な防除が必要であるが、ミカンハダニとカイガラムシ類の異常増殖（リサージェンス現象）が起こる可能性があるため、散布後の発生には注意する。
- (7) 薬剤は登録内容に応じて使用するが、周辺作物や生物（魚・蚕・ミツバチ等）に影響を及ぼさないよう注意して選択する。

表1 ヒノキ球果における口針鞘数

(令和8年8月調査)

調査地点		採取日	ヒノキ 球果 結実量	口針鞘数 (本／球果)
				R8
東予	西条市丹原町川根	8月12日	中	15.8
	今治市菊間町西山	8月13日	中	20.0
	今治市菊間町河之内	8月12日	多	16.1
中予	松山市栗井	8月13日	中	27.5
	久万高原町明神	8月12日	多	11.4
	砥部町鶴ノ崎	8月12日	多	27.0
	伊予市双海町高岸	8月12日	やや多	28.2
南予	内子町五十崎	8月13日	やや少	8.5
	宇和島市柿原	8月12日	中	24.8
	西予市宇和町西山田	8月13日	やや多	13.1
	愛南町城辺緑	8月12日	少	14.2
			平均値	18.8

※口針鞘数が25本／果を超えるとヒノキから離脱（網掛け：超過地点）

※口針鞘数：20球果／地点調査

表2 予察灯誘殺数(8月上旬)

地点	R8年	平年
松山市上難波	213	16.0
松山市下伊台	666	281.0
松前町大間	211	11.2
久万高原町入野	217	93.8
西予市宇和町山田	194	87.1
宇和島市立間	135	36.4
鬼北町興野々	269	524.2
愛南町御荘長月	170	93.9
全県	2,075	1,143.5

表3 集合フェロモン誘殺数(8月上旬)

地点	R8年	平年
西条市丹原町高松	2,345	1,021.3
松山市上難波	1,271	385.1
松山市下伊台	1,437	143.4
宇和島市吉田町立間	65	173.0
鬼北町興野々	1,826	733.3
全県	6,944	2,456.1